

第9章 協力・支援活動

9-1 TEC-FORCEの概要

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)とは、大規模自然災害が発生し、または発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生および拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するため設置された組織である。

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震では、全国からのべ18,115人・日※が隊員として派遣された。

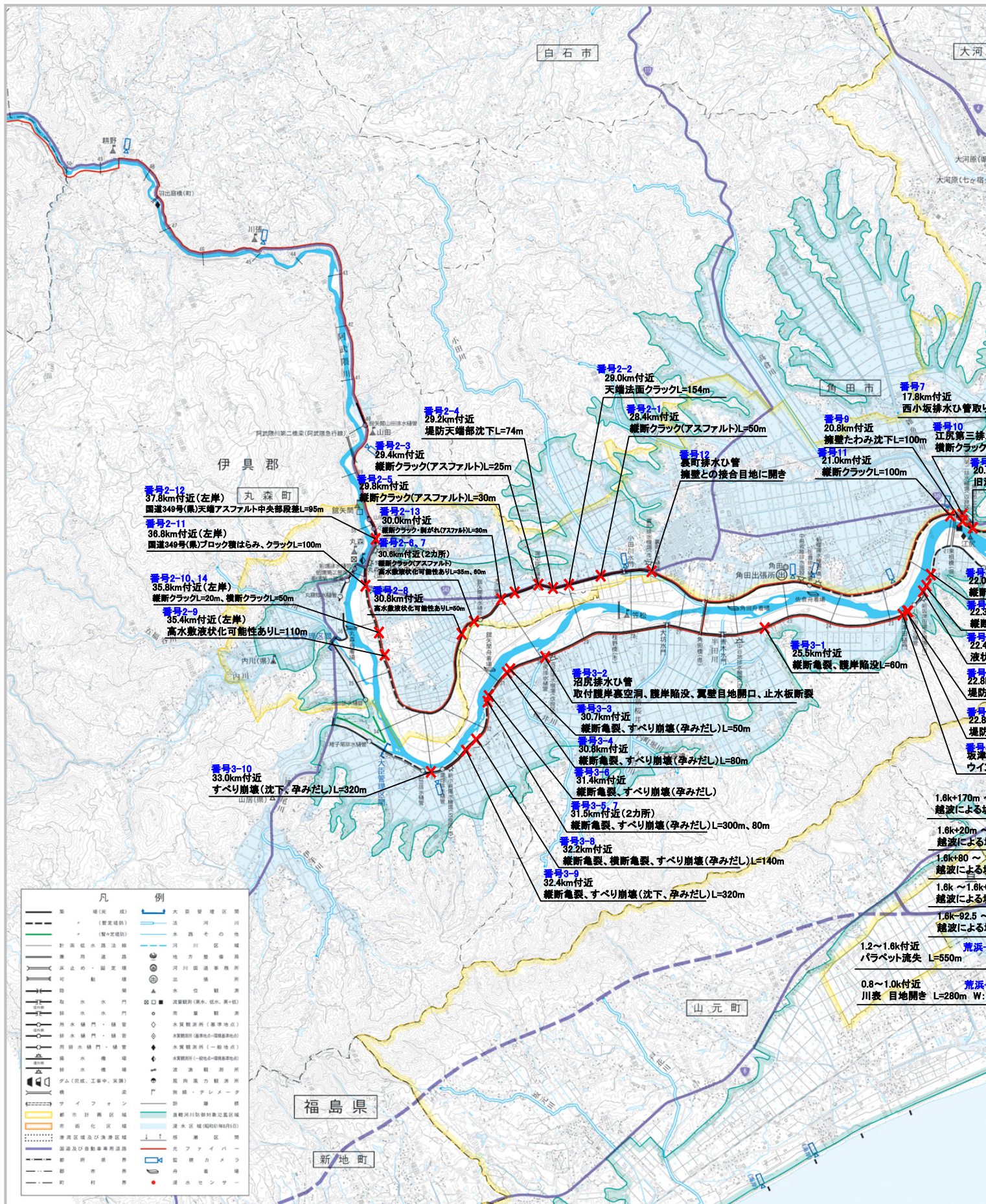
※18,115人・日:3月11日～11月21日

仙台河川国道事務所管内では3月13日以降 TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)参集。関東地方整備局、中部地方整備局、九州地方整備局の隊員が管内での技術的支援活動を実施。

河川関係では、中部、九州、関東地整の方々にTEC-FORCEとして、被害調査や災害申請に関し外業、内業の仕事を行って頂いた。



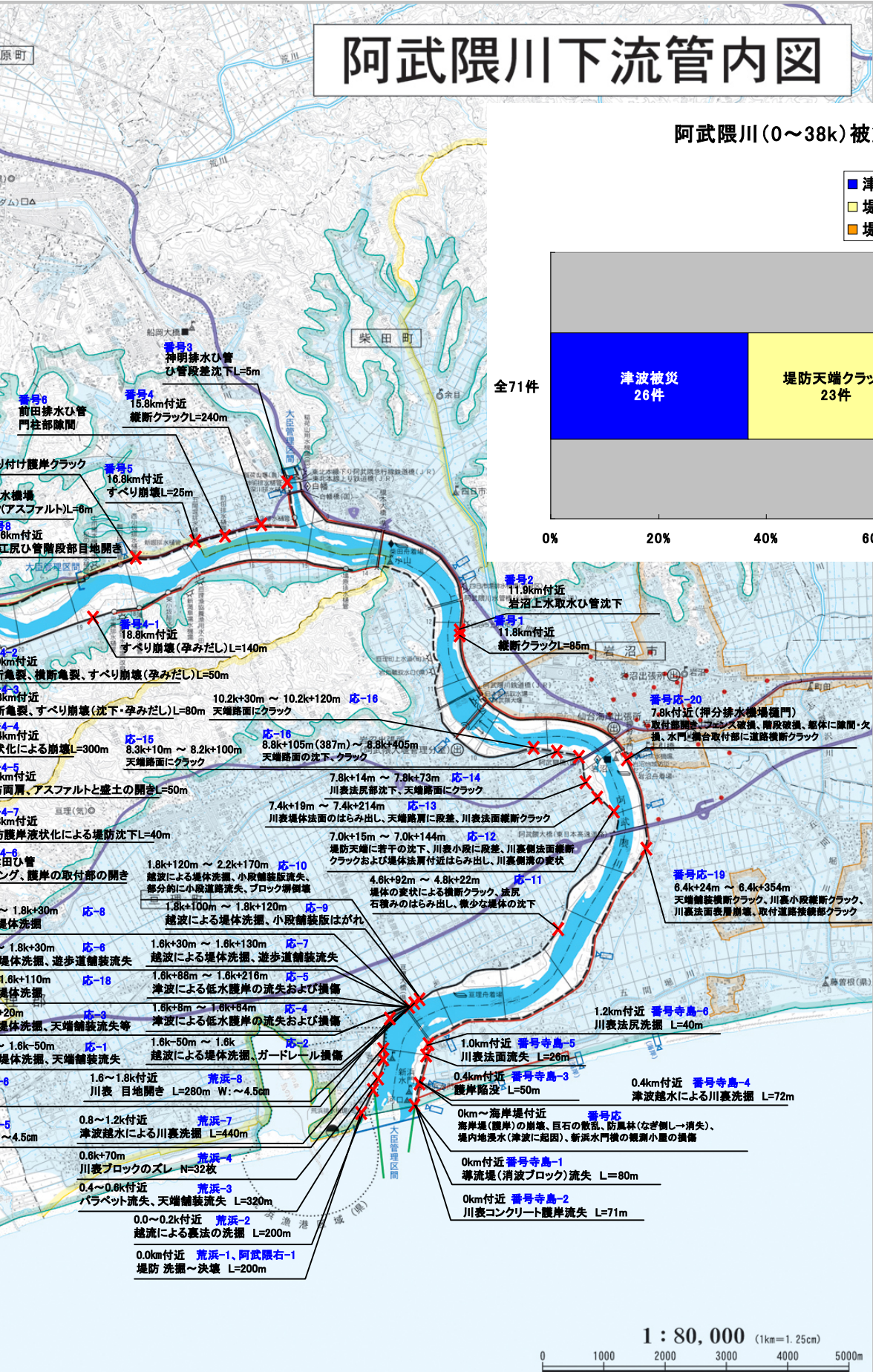
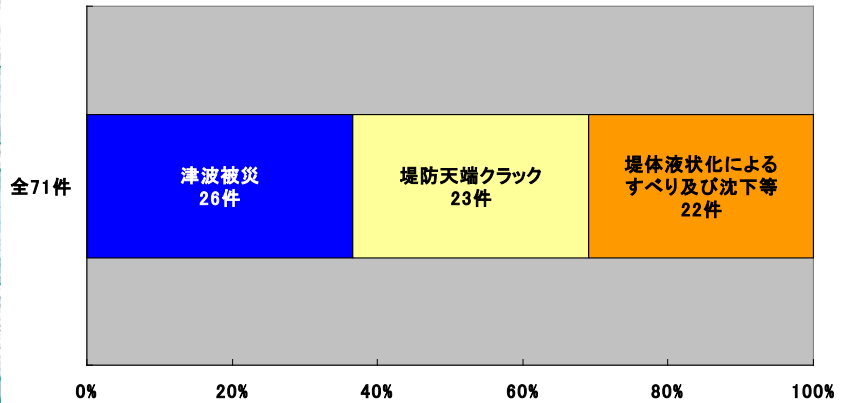
TEC-FORCEによる活動報告



阿武隈川下流管内図

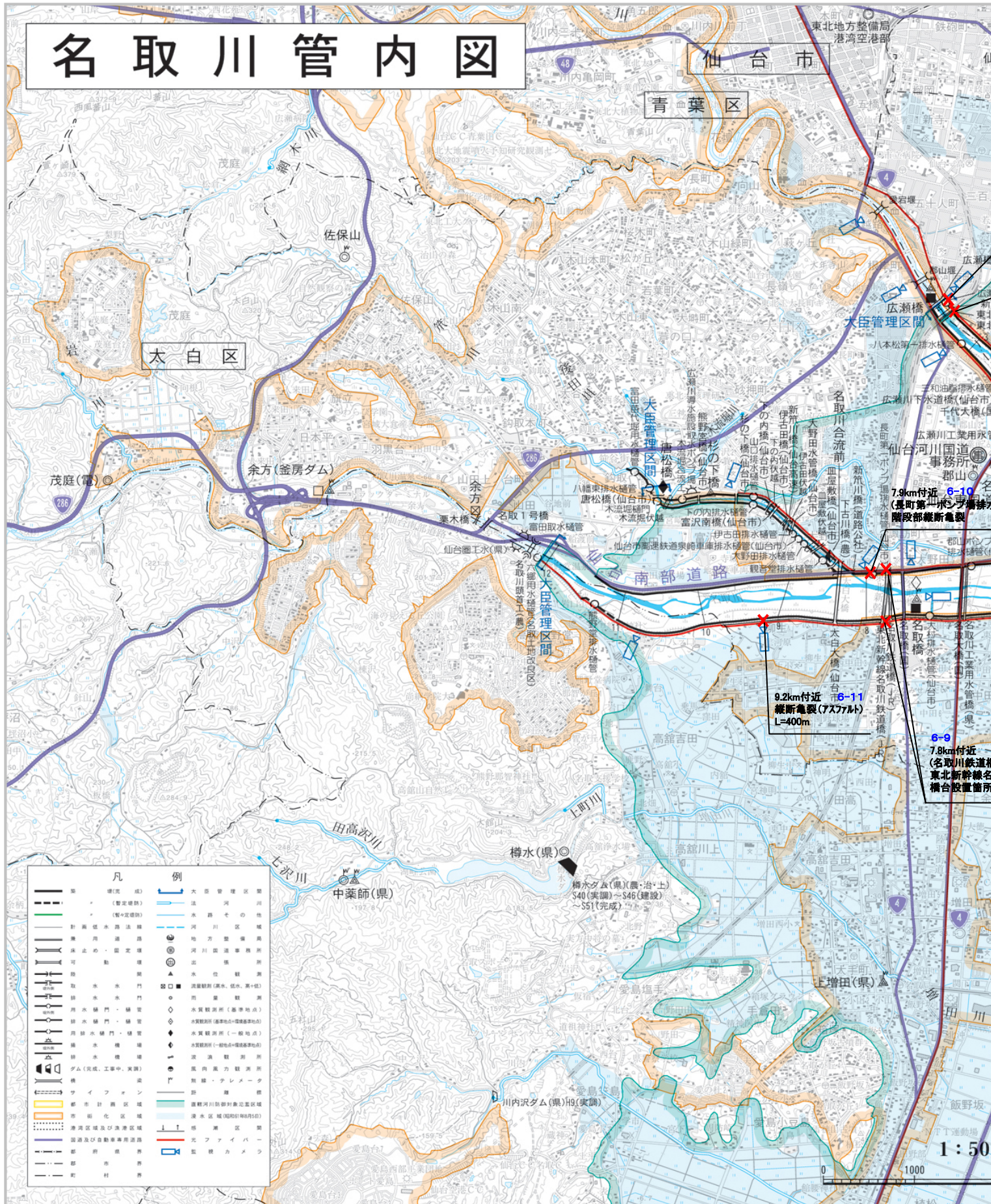
阿武隈川(0~38k)被災要因

- 津波被災
- 堤防天端クラック
- 堤体液状化によるすべり及び沈下等



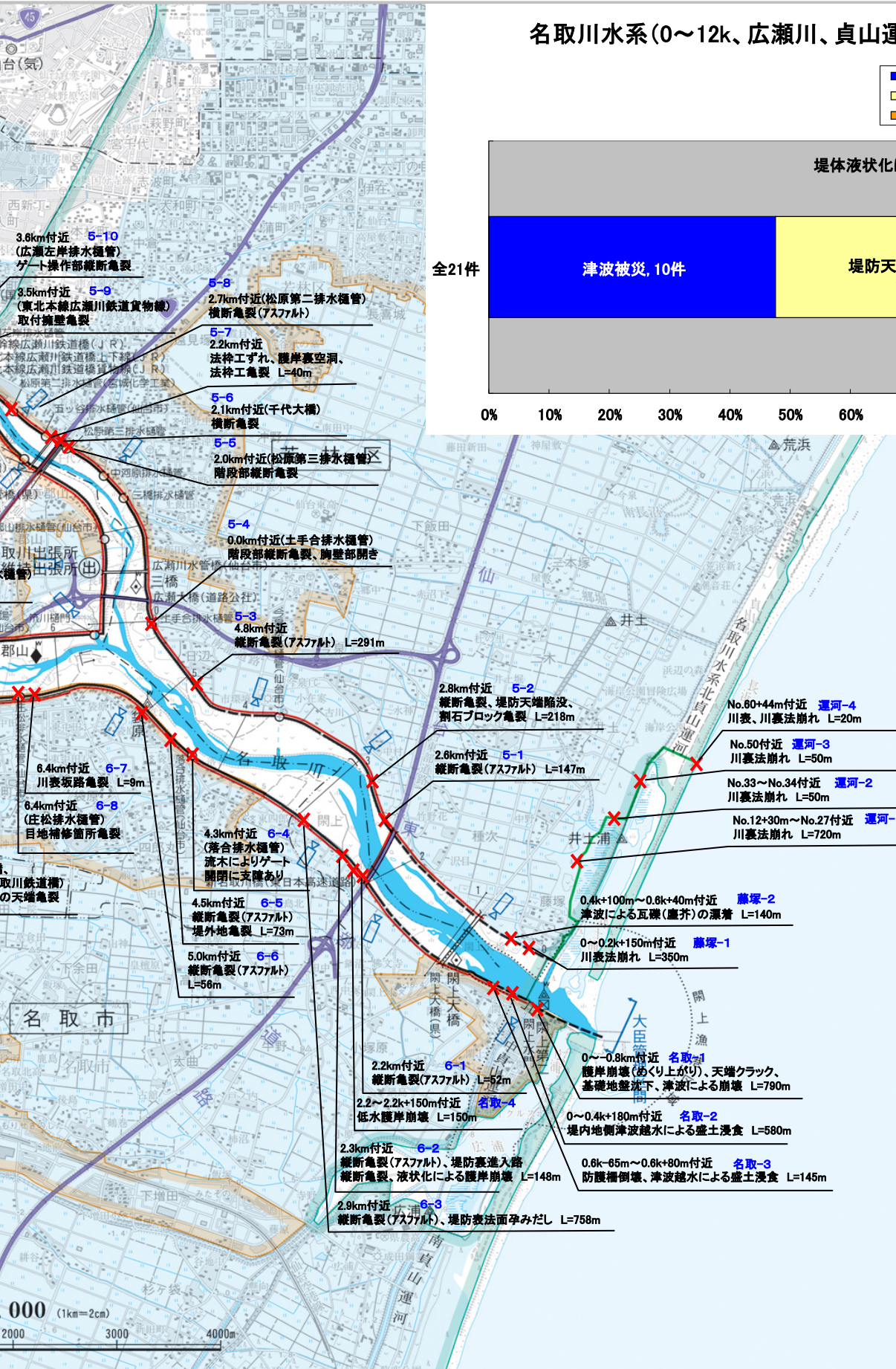
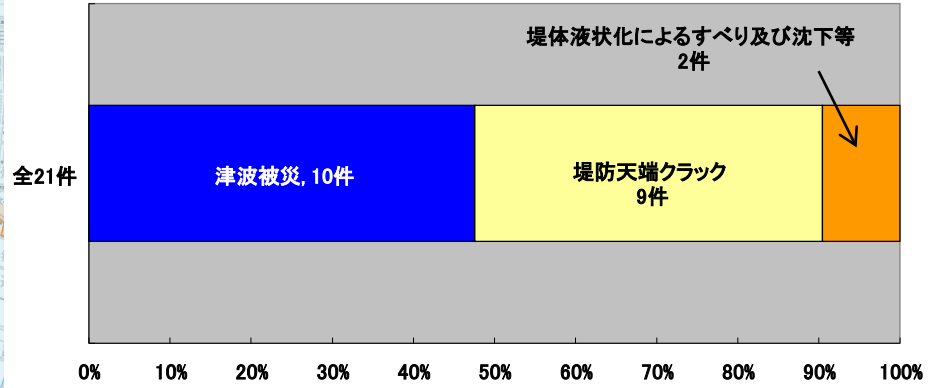
1 : 80,000 (1km=1.25cm)





名取川水系(0~12k、広瀬川、貞山運河)被災要因

- 津波被災
- 堤防天端クラック
- 堤体液状化によるすべり及び沈下等



9-2 復興支援カウンターパート

国土交通省では、今回の震災に関する各種調査結果の提供や、地域が直面する課題への技術支援などを通じ、県や市町村が検討されている復興に、協力・支援等することになりました。

そのため、東北地方整備局では、局内に「市町村復興支援チーム」を立ち上げるとともに当事務所では、復興支援カウンターパート情報窓口を担当しました。これにより、市町村が直面する課題に対して本省各局と地方整備局が一体となって検討し、当事務所からも情報提供等を行う体制を整えました。

